



第94回 世田谷祭

～色とりどりの学園祭～

第94回 東京都市大学 世田谷祭実行委員会 会長
都市生活学部 都市生活学科 3年 植木あいり

第94回世田谷祭にご来場、ご試聴いただいた皆さま誠にありがとうございました。本年度のテーマである「百花繚乱」の名のもと、華やかな学園祭を目指し委員一丸となって活動してきましたが、お楽しみいただけましたでしょうか。今年度は6000人を超える来場者で世田谷祭は大いに盛り上がりました。世田谷祭当日は、無邪気に笑うお子様や、楽しく学園祭を巡る来場者の方々の表情が印象的で、私もこれまで頑張ってきた甲斐があったと心から感じました。

今年度の世田谷祭は過去最多となる教室企画、またキャンパスを埋め尽くす模擬店、さらにパワーアップした委員会企画など様々な挑戦をした年であり、それゆえ多くの困難もありました。その都度話し合いを重ね、ひとつひとつの問題と向き合って参りました。時には夜遅くまで学内に残り活動すること、夜通しビデオ通話など

で議論をすることもありました。ここまで頑張ってきたのも大切な仲間である実行委員のみなで「世田谷祭を最高の思い出にしたい」という気持ちがあったからだと思います。

実際にその思いが功を奏し、第94回世田谷祭も大きなトラブルもなく多くの来場者を迎え大成功のなかで幕を閉じることができました。その時は感動で思わず涙があふれてしまったことを今でも鮮明に覚えています。

このような最高の思い出に残る世田谷祭の開催にご支援、ご協力くださったすべての方々にこの場を借りて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今年度沢山活躍してくれた委員なら、来年度も今年を超える世田谷祭にしてくれると信じていますので、次回の世田谷祭も是非ご参加いただければ嬉しいです。

事務局だより

後援会会員の皆様には、日頃より大学行事ならびに課外活動に対して多大なるご支援ご協力を賜りまして誠に有難うございます。4年前、先の読めない不安と混乱のなか、入学式も出来ず、授業開始が5月からという異例の大学生活をスタートさせた学生たちが現在4年生です。最後の大学生活を謳歌しつつ、リアルな体験を通じた学修や課外活動とともに自己研鑽に励んでおります。2023年度は横浜祭、世田谷祭も完全対面開催となり、様々な企画とともに大学祭本来の学生や地域のお客様の賑わいがかえってきました。オンラインでの大学生活を経験してきた学生同士のリアルな交流をいかに深

めるかは今なお課題ではありますが、大学としても積極的に支援をしていきたいと存じます。コロナ禍を経験したからこそ加速しているSociety 5.0に向けた新しい時代に対応した学生支援に向けて、後援会の皆様とともに探求してまいりたいと存じます。引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

横浜キャンパス副学生部長
環境学部環境創生学科 主任教授
飯島 健太郎

